



新年のごあいさつ
神戸市老人クラブ連合会
(KOBESHINIA CLUB)
理事長 **大辻 正忠**

会員の皆さま、あけましておめでとうございます。皆さまには、新しい年を健やかに迎えたいと願っています。

新型コロナウイルスの日本初の感染者が確認されたから3年が経過しました。この間、市老連ならびに区老連の活動も大きな制約を受けてまいりましたが、昨年は、感染防止対策を徹底しながら、市老連のほとんどの事業を実施することができました。皆さまのご協力に心から感謝いたします。



新年に寄せて
神戸市長 **久元 喜造**

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界中に大きな衝撃を与えました。この侵攻に強い憤りを感じるとともに、神戸市は被害に遭われたみなさまの苦しみ、悲しみに心を寄せてきました。国際情勢も緊迫する状況が続いていますが、一日も早く平和を取り戻し、安寧な日々が訪れることを心よりお祈り申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の出現



新春メッセージ
躍動する兵庫、新時代への挑戦
兵庫県知事 **齋藤 元彦**

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が広がりをみせてから三年が経過しました。これまでの経験と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入ったと言えるでしょう。一方、混乱するウクライナ情勢等を背景にした物価高騰や円安が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。こうした変化の大きな時代だからこそ、受身にならず、新たな挑戦を起すことが大切であると存じますが、いまだに予断を許さない状況が続いており、引き続きマスクの着用、手指の消毒、体調管理など、基本的な感染防止対策をお願いしたいと思います。さて、昨年は全国老人クラブ連合会が創立60周年を迎え、11月に天皇・皇后両陛下のご臨席のもと、国技館で全国老人クラブ大会が開催されました。大会宣言が採択され、次の取り組みを実践していく事となりました。

一、健康長寿をめざす「健康活動」の推進
一、暮らしを見守る「支え合い活動」の展開
一、高齢者を豊かにする「生きがい活動」の充実
一、あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
一、高齢者の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

KOBEシニアクラブは、これまでも、会員自らが健康の維持・増進に努め、仲間づく

から、3年が経過しようとしていますが、いまだに感染拡大の波が繰り返され、予断の許されない状況が続いています。医療従事者のみなさまの献身的なご尽力をはじめ、多くの方々のご協力をいただき、この危機を乗り越えてきました。引き続き、市民の命と健康を守り、神戸経済を回復させることに全力で取り組んでいきます。

神戸の街並みは見違えるように変わり始めています。都心・三宮再整備やウォーターフロント再開発が大きく進み、まちの顔である「駅前空間」のリノベーションも着実に進んできています。また、緑豊かな六甲山や里山・農村、美しい瀬戸内海など、神戸の自然の魅力を二層高める取り組みも行っています。そして、長年の念願であった神戸空港が国際化に向けて動き出し、神戸市はこれから

いでしょうか。令和五年は「躍動する兵庫」の実現に向け果敢にチャレンジする年にしたいと思えます。その一つは、新たな産業活力の創出です。中小企業やスタートアップが持っている既存の技術と地域課題とのマッチングを広げ、新たなイノベーションを生み出します。また、水素エネルギーの活用や中小企業のCO2排出量削減の支援強化など、脱炭素社会に向けた取組を加速させます。ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの社会実装にも挑みます。また、兵庫が関西と瀬戸内の結節点にあるという好立地を活かし、両エリアをつなぐ大交流圏の形成をめざします。大阪・関西万博が開催される二〇二五年には、瀬戸内国際芸術祭も開催される予定です。県内各地をパビリオンに見立てて誘客する「ワールドパビリオン」を核に、関西圏域とは万

り、生きがいづくりなどの活動や会員同士の見守り活動などを通じて、互いに手を携えながら活力ある地域づくりに取り組んできたところですが、今後とも、この宣言を基にしたがら、しっかりと取り組んでいこうという思いを新たにいたしました。

国際都市として新たな段階に入ります。これは神戸市が目指す、国内外に貢献し、市民が誇りを持つ『海と山が育むグローバル貢献都市』の姿に近づく大きな一歩となります。同時に、市民のみなさんが、安心・安全な生活がおくれるよう、子育て・教育支援・健康・福祉の増進や災害に強いまちづくりを進めるとともに、持続可能なまちの実現に向けて新たな取り組みを推し進めていきます。

市民のみなさんには是非、これからの神戸のまちづくりに関心を寄せ、新たな都市像を描く取り組みに参画いただき、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

博に関連した連携事業を、瀬戸内圏域とは芸術・文化等をテーマにした連携事業を行えるよう、着実に準備を進めていきます。若者の学びの場も充実させます。県立高校等において、魅力・特色あるカリキュラムの充実やICT化を進めることに加え、生徒ファーストの視点で、老朽化が進む学校の施設・設備や部活動の用具・備品等を改善します。中高生からのアンブレプレナーシップ(起業家精神)教育も推進し、課題解決に主体的に取り組む力を伸ばします。県政の推進にあたり、今年ももっとも大切にしている姿勢は、現場主義の徹底と対話の重視です。私自身、引き続き積極的に県内各地域に足を運び、医療や交通、観光、教育など様々な課題について県民の皆さまと対話をし、施策につなげていきます。皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

【全老連】天皇皇后両陛下ご臨席を仰ぎ 60周年記念大会開催

11月8日

(火)国技館(東京都墨田区)にて全国老人クラブ連合会創立60周年記念全国老人クラブ大会が、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国から老人クラブ代表者850名の出席のもと開催されました。



創立60周年記念全老連大会」に出席された天皇、皇后両陛下

KOBEシニアクラブ(神戸市老人クラブ連合会)からは、厚生労働大臣表彰および全国老人クラブ連合会会長表彰を次の方が受賞されましたので、ご紹介させていただきます。

- 【厚生労働大臣表彰】(順不同、敬称略)
 - 育成功労者表彰 近藤 豊宣 (西区)
 - 育成功労者表彰 【全国老人クラブ連合会会長表彰】 今池 幸仁 (灘区)
 - 優良老人クラブ表彰 きらく会 (西区)
 - 永年勤続表彰 山田 徳子 (市老連事務局職員)



式典のようす

写真提供：全国老人クラブ連合会